

## 奈良県防災士会 10周年記念総会

平成 30 年 5 月 27 日 (日) 奈良県防災士会平成 30 年度総会が、奈良市ホテルリガーレ春日野において開かれ、91 名の参加がありました。総会には、奈良地方気象台 山下台長、奈良県消費生活安全課 本岡課長補佐、奈良県社会福祉協議会 石川氏、日本防災士会 本部 浦野会長理事、京都府支部 田中支部長、大阪府支部 木村事務局長のご臨席を賜りました。

総会は、古瀬防災士の司会で始まり、理事長と来賓の挨拶をいただいた後、議案の審議に移りました。総会の議長は奥田英人副理事長が務め、予定していた議案はすべて原案通り承認されました。

奈良県防災士会は発足 10 年を迎え会員数も 370 名を超えました。「防災士って何?」と言われていたのが、今日では多くの訓練や研修の要望をいただくようになりました。これもひとえに皆様方の並々ならぬご尽力の賜物と深く感謝いたします。

総会終了後にシンポジウムを開催、元益城町広安西小学校校長の井手文雄氏による基調講演ののち、日本防災士会本部参与 橋本茂氏、宮城県支部副理事長 黒田典子氏、奈良県防災士会理事 大北容子氏も加わってパネルディスカッションを行い、118 名の会員が耳を傾けました。

記念パーティーへも 68 名の参加で、奈良県防災士会オリジナル防災紙芝居の上演や、ぼんぼこ一座のちんどんが場を盛り上げるなど、奈良県らしさ満載の記念イベントとなりました。

## ■奈良県防災士会 役員のご紹介

- |      |   |
|------|---|
| 理事長  | 植村信吉  |
| 副理事長 | 奥田英人、古瀬博之 (北和ブロック長 JP 担当兼任)                     |
| 理 事  | 未田政一 (事務統括) 南上敏明 (中和ブロック長)                      |
|      | 板垣伴之 (経理統括) 杉村正春 (南和ブロック長)                      |
|      | 山口正春 (研修部長)                                     |
|      | 勝川喜仙 (広報部長)                                     |
|      | 井上 清、高岡宏芳、佐古金二郎、大北容子、北村厚司、八幡領光隆、板谷慶依子、石川啓子、杵島良仁 |
| 監 事  | 大久保喜治、堀田東作、村山 央                                 |
| 参 与  | 木本喜信、木村尚史、柏田勝幸                                  |
| 顧 問  | 伊藤東洋雄、松尾 修                                      |



# 活動報告

■ 2018年(平成30年)1月～6月の活動 ※参加人数は、主催者発表による。



2/17 HUG (天理手話サークル)



2/18 流水歩行・豪雨体験 (奈良市都祁)



2/18 ドクターヘリ (奈良市都祁)



ドクターヘリ隊員の皆さん



ヘリ搭載の医療バッグ、ストレッチャーなど



ドクターヘリ後部の搭乗口



2/24 HUG (災害ボランティア養成講座)



2/25 家具の固定方法説明 (三宅町)

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
1/14(日)	防災講演「大災害に備える」、 役立つロープワーク	天理市	天理市北桜垣町自治会	22人
1/15(月)	学校支援事業「学活中のシェイクアウト」奈良県 地震発生時の行動		奈良県教育委員会 (保健体育課)	256人
1/17(水)	災害時の行動(タイムライン)	三宅町	三宅町総務課	26人
1/18(木)	三宅町防災総合訓練について (事前研修)	三宅町	三宅町総務課	15人
1/23(火)	学校支援事業「保護者引き渡し訓練」 地震発生時の行動	奈良県	奈良県教育委員会 (保健体育課)	432人
1/27(土)	奈良地方気象台見学会(定例研修会)	—	奈良県防災士会	70人
1/27(土)	ならどっとFMラジオ取材	—	ならどっとFM(ラジオ)	2/9~11 放送
1/27(土)	奈良県防災士会 新年会	奈良市	奈良県防災士会	46人
1/28(日)	在日外国人の防災研修	奈良市	奈良国際サポートセンター	53人
1/30(火)	平成29年度防災教育実践会	奈良県	県教育委員会(保健体育課)	11人
1/31(水)	葛城市で予測される災害と対策 「簡易担架」	葛城市	公明党葛城支部	30人
2/1(木)	動物取扱責任者講習 講演「ペットの災害対策」	奈良市	県消費・生活安全課	18人
2/4(日)	炊き出し、応急措置、簡易担架、 紙芝居、新聞紙スリッパ	葛城市	葛城市脇田地区	25人
2/9(金)	自治体職員研修会 避難所運営にかかる実務者研修(HUG・講演)	奈良県	県防災統括室	32人
2/9(金)	ならどっとFM スタジオ収録 「奈良県立大学中室くんの防災シール/防災士ワンポイント」	—	ならどっとFM	2/23~3/4 放送
2/10(土)	アルファ化米給水サポート、 簡易担架、三角巾	曽爾村	曽爾村9地区自主防災会 (県地域向上支援)	70人
2/11(日)	伝統的町並み保全と防災 (室崎益輝先生)	宇陀市	日本建築家協会近畿支部 奈良地域会	70人
2/14(水)	女性向け防災パンフレット編集会議	奈良県	県防災統括室	9人
2/16(金)	川西町防災訓練 「小学生への講評・水害への対策」	川西町	川西町自主防災連絡協議会 &川西町	250人
2/17(土)	「障がい者」避難所運営体験・研修 「HUG」	天理市	天理手話サークル	43人
2/18(日)	六条校区防災訓練 「避難所開設・運営リーダー訓練」	奈良市	六条校区自主防災防犯会	152人
2/18(日)	都祁訓練 「流水歩行・豪雨体験、ドクターヘリ、避難所開設マニュアルの検証」	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	250人
2/24(土)	災害ボランティア養成講座 「防災士会の取り組み」	奈良県	奈良県社会福祉協議会	34人
2/24(土)	災害ボランティア養成講座 「地域での防災活動」HUG or DIG	奈良県	奈良県社会福祉協議会	34人
2/25(日)	三宅町防災総合訓練 (住民の手作り型)	三宅町	三宅町総務課(委託事業)	260人
2/27(火)	防災教育支援事業実践会議	奈良市	県保健体育課	9人
3/1(木)	防災リーダーフォローアップ研修 (講演)	奈良市	県安全安心まちづくり推進課	84人
3/8(木)	アドバイザースキルアップ研修会	—	県安全安心まちづくり推進課	7人
3/13(木)	障害者施設事業書での防災活動 「講演・ワークショップ」	香芝市	中和地区3市1町 障害者自立支援協議会	60人
3/13(火)	奈良教育大学 避難所運営シミュレーション体験「HUG」	奈良市	奈良教育大学ボランティア サポートオフィス学生スタッフ	25人
3/13(火)	NHK-FM「防災ラジオ生放送」	—	NHK奈良放送局	生放送

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
3/18(日)	大安寺西地区防災訓練 「避難所寸劇・搬送訓練・ドクターヘリ」	奈良市	大安寺西地区 自主防災防犯会	300人
4/1(日)	関西支部連絡協議会会議	—	関西支部連絡協議会	14人
4/7(土)	建築家協会総会、記念講演、懇親会	奈良市	公益財団法人日本建築家協会 近畿支部奈良地域会	—
4/14(土)	自主防災総会記念講演 「地域と共に減災を考える」	橿原市	橿原市内膳町自主防災会	60人
4/17(火)	NHK ラジオ第一放送「関西ホットライン」	—	NHK 大阪放送局	—
4/26(木)	県防災総合訓練第1回全体会議	田原本町	県防災統括室	—
4/26(木)	第14回関西広域連合協議会	—	関西広域連合協議会	—
5/9(水)	NHK ラジオ第一放送「関西ホットライン」	—	NHK 大阪放送局	—
5/12(土)	避難所運営と避難所運営ゲーム (HUG)	桜井市	纏向地区社会福祉協議会	53人
5/13(日)	葛城市防災士会総会	葛城市	葛城市防災士会	—
5/19(土)	東和中和医療圏防災会議	橿原市	健生会土庫病院医師	—
5/25(金)	防災学習 (小学6年生対象)	河合町	河合町	150人
5/27(日)	奈良県防災士会10周年記念総会	奈良市	奈良県防災士会	91人
5/27(日)	奈良県防災士会第一回理事会	奈良市	奈良県防災士会	18人
5/27(日)	総会記念研修会パネルディスカッション	奈良市	奈良県防災士会	122人
5/27(日)	10周年記念パーティー	奈良市	奈良県防災士会	68人
5/30(水)	県防災総合訓練第2回全体会議	橿原市	県防災統括室	—
5/30(水)	幼稚園、保育所での防災対策と訓練を 考える	奈良県	奈良県教育委員会 (教育研究所)	150人
6/1(金)	日本防災士会地方議員連絡会総会	—	日本防災士会	—
6/2(土)	耳成小学校校区地域推進こども教室 防災の紙芝居、新聞紙スリッパ作成等	橿原市	耳成小学校校区地域推進 こども教室	60人
6/5(火)	NHK ラジオ第一放送「関西ホットライン」	—	NHK 大阪放送局	—
6/16(土)	耳成小学校校区地域推進こども教室 防災の紙芝居、新聞紙スリッパ作成等	橿原市	耳成南小学校校区地域推進 こども教室	95人
6/23(土)	日本防災士会 平成30年度通常総会	—	日本防災士会 (本部)	—
6/24(日)	防災ワークショップ 「自主防災組織の災害対応訓練」	三郷町	三郷町三室自治会	45人
6/24(日)	斑鳩町水害対応訓練 「避難所開設訓練・体験・講演」	斑鳩町	県委託支援事業	168人

## ■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
6/2(土)	避難所運営ゲーム (HUG)	奈良市	千代ヶ丘自治会自主防災会	29人
6/3(日)	防災学習会 「防災活動の幅を広げる活動について」	大和郡山市	薬師寺アーバンライフ 自主防災会	60人
6/3(日)	田部町防災研修会「クロスロードゲーム」	天理市	田部町自主防災組織	49人

## ■連続講座 県婦人会館防災研修

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
6/7(木)	①開講式 ②災害に備える (基本) ・ (地震)	奈良市	奈良婦人会館 (連続講座)	7人
6/21(木)	①過去の災害から学ぶ ②小技 (毛布、新聞紙、ゴミ袋)	奈良市	奈良婦人会館 (連続講座)	8人

## ■ 定例研修会「奈良地方気象台見学」

平成 30 年 1 月 27 日（土）奈良県防災士会冬の定例研修会として「奈良地方気象台見学会」を開催し、70 名の防災士に参加いただきました。

地域ごとに 4 班に分かれて、気象台見学と台長の業務説明があり、参加者皆さんが寒い中熱心に質問され、貴重な体験をしていただきました。定員の都合で申込は郵送先着順としましたので、大好評の結果、残念ながら参加いただけなかった方もありましたが、今後も有意義な研修会を企画していきます。

終了後は恒例の懇親会（新年会）を行い、46 名の防災士がざっくばらんに語り合いました。奈良県防災士会は防災士同士のコミュニケーションが重要と考えています。研修会や訓練見学はもちろん、懇親会へもお気軽にご参加ください。

＜末田政一 防災士＞



奈良地方気象台の地震計

## ■ 設立 10 周年記念シンポジウム 井手文雄氏基調講演

設立 10 周年記念シンポジウムでは、元熊本県益城町広安西（ひろやすにし）小学校校長の井手文雄氏による基調講演がありました。熊本地震では、広安西小学校は多い時で 800 名程度の避難者を受け入れ、役場職員と共に学校職員が避難所運営に携わったとのこと。当時の様々なエピソードとその経験に基づく避難所運営の心得、対処策などを聴く貴重な時間を参加された防災士達と共有しました。



地震発生直後は停電や断水が一番の問題で、トイレの水は貯めてあったプールの水をバケツリレーで運んだ。また、消息不明の被災者を訪ねる遠方の縁者からの電話対応もあった。役場職員は避難者受け入れのいわば交通整理に追われ、校長以下自身も被災している学校職員が運営の実務を任せられ、登校できる限られた学校職員による避難所運営は当初は相当な負担であった。トイレと寝床と食料の確保。避難してくる方は皆、不安な気持ちでいっぱい。“安心感をどう作るか”が課題であった。



集団での避難所生活には、衛生の保持、管理に注意を払った。ただ、土足禁止エリアは設けないことにした。寝ているところに靴のまま通行することは視覚的にはNGだが、都合よいこともある。手洗い用のバケツに貯めた水の使い方も全員周知難しく、何度も水の入替えを行わなければならなかった。そのため“衛生管理を専任する教員を指名”し、日々チェックしなければならぬことを書き出してチェックさせることにした。

チェックボードに書き出した項目は日に日に増えていき数十項目を数えた。

弱者支援にも気を付けなければならない。避難時は隣近所連れだってやってくるが、若い世代は早くに自宅などに戻っていく。残った方の多くが高齢の方や生活弱者である。認知症を発症していた方の搜索願届けもあった。このような方には周りの健康な方のサポートが必要と考え、弱者が寝床としている場所にどのようなサポートが必要かを記したメッセージを掲示し、“弱者の見える化”を図った。

避難者の中には、もちろん児童もいる。避難生活によるストレス解消策に物資の配給を子供たちの仕事とし、避難所における“自分たちの役割”を認識させた。他にも「ニコボラ新聞」なる避難所広報誌を作成するなど“楽しいことに時間を費やす”ように心がけた。

ボランティアによるマッサージやオーラルケアを受け入れ、図書館を癒しの場として開放したり、塾の講師など経験者による「放課後子供教室」の開催で休校している間の学習補完の一助とした。救援物資もボランティアも“全て断らず”に受け入れた。

避難生活も長くなると様々な弊害も出てくる。煙草の煙、更衣室や授乳室設置の要望など。何に困っているのかを避難者の方々から直接聴くことが重要。足しげく顔を合わせ、声掛けするなど1日に何度も体育館を回った。

役場職員はボランティアや救援物資などの外部からの申し出や受け入れについて、上位機関の判断を仰ぐなどたらい回しの傾向がある。避難所に足りていると判断した場合、申し出を断ってしまうこともある。行動基準と判断基準を持った決断できる権限を避難所の現場に持たせるべき。誰のため、何のためといった目的意識を持って能動的な仕事を行なわせるかが重要。



広安西小学校が避難所としての機能を終え、閉所したのは8月。その4か月余りに楽しいイベントも多数行った。一つは演奏会を開催。これは教員からの提案であった。他にも近隣の農地を借りてビアパーティーも開催した。これはやはり学校内での飲酒はできないという理由で、会場を校外とすることと主催を学校ではなく保護者会とした。

### <基調講演を聴いて>

基調講演の終盤は残り時間を気にしながら、できるだけ多くのことを伝えようとしていただきました。今回の講演では時間の都合で井手氏が伝えなかったこと全てではなかったと思います。ただ、身振り手振りを交えての長時間の熱心な講話は、時間が経つのを忘れるようで井手氏の人柄がにじみ出るような内容でした。広安西小学校が避難所として上手に運営できたことは、地震発生以前の校長と教員との良好な関係があったからではないかと思います。コミュニケーションや人の登用に関して、普段から井手氏はその能力に長けており、避難所運営にも十分通用したと感じる。井手氏のオーラに強く惹かれる基調講演でした。

<八幡領光隆 防災士>



パネルディスカッション パネラーの皆さん  
左端より 井手文雄氏、黒田典子氏、橋本茂氏、大北容子氏



菊地朋美防災士とぽんぽこ一座の皆さん  
(写真右端)

## ■日本防災士会 地方議員連絡会議員研修会・総会

平成30年6月1日(金)衆議院議員会館において、日本防災士会地方議員連絡会議員研修会・総会が開催されました。奥田副理事長よりレポートが届きましたので報告します。

### 「乳児用液体ミルクの現状について」自見はなこ 衆議院議員

調乳・滅菌済みで保存可能な液体ミルクは、人工乳の必要な乳児にとっての安全な食料であり、導入されることが望ましい。しかし、導入に当たっては安全性やその利点を過信せず、注意点をよく把握して適切に使用することが必要です。衛生的な管理という意味だけでなく、導入に当たっては基本的なルール、すなわちWHOの「母乳代用品のマーケティングに関する国際基準」を遵守することが併せて理解されるべきでしょう。



液体ミルクが日本で知られるようになったのは、東日本大震災や熊本地震の時に海外から寄付されたことが大きなきっかけです。今後の導入に際してはどのような対応が必要でしょうか。

東日本大震災では、避難所に乳幼児の姿は少なく、乳児健診会場で無差別に配布され、適切な利用につながりませんでした。この時、育児支援団体から、液体ミルクや使い捨て哺乳瓶の適切な使用について注意を喚起する提言がなされました。

熊本地震でも、支援物資として液体ミルクが届けられました。前回の反省を踏まえて国会議員や地方議員の関係する団体で日本語訳を添付して配布されました。

災害時は哺乳瓶や人工乳首を清潔に管理することや、ミルク等を作る清水等の確保が困難です。**最も安全で至適な乳児栄養は母乳**ですが、災害時には乳児にとって安全な母乳代用品が必要です。

日本でも液体ミルクの導入が国会議員の呼びかけで進められています。

### 「いのちを守るAED～平時の防災～」早坂義弘 都議会議員・日本AED財団常任理事

AEDの必要性、スポーツ現場での心臓突然死は多く、スポーツ中や直後に起きる心室細動と呼ばれる致死性不整脈の発生によるものが多い。

最近ではAEDの講習等受けられた方は多いが、イベント等で何処にAEDがあるか参加者はわかりにくい。イベント等開催される時には、AEDの設置場所の案内等も必要である。



## 災害支援活動

本年7月5日から、西日本を中心とした豪雨により各地に甚大な被害をもたらしました。謹んで犠牲となった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。

奈良県防災士会も、できる限りの支援活動を行っていく決意を新たにしているところであります。つきましては会員の皆様へ、被災地支援のための「寄付・カンパ」のご協力を要請いたします。当然金額は問いません。出来る範囲のご支援をよろしく申し上げます。

#### ◇ゆうちょ銀行

記号14510 番号24184371

#### ◇他の金融機関からの場合

ゆうちょ銀行 四五八店(ヨンゴハチ) 普通 2418437

名義：特定非営利活動法人 奈良県防災士会

読み：トクヒ)ナラケンボウサイシカイ

※この口座は災害支援専用の口座です。必ず、上記記載の口座へお願いします。

## 今後の活動予定

定例研修会 ※7月開催予定の定例研修会は、都合により延期になりました。  
詳細が決まりましたら、改めて案内します。

### 奈良県防災士会のキャップ 好評販売中！

皆さまからの熱いご要望にお応えして、奈良県防災士会のキャップが頒布品に加わりました。  
優れたドライ機能とUVカットが嬉しいポリエステル100%メッシュ素材です。  
フロントに防サイくんをデザイン、サイドに「奈良県防災士会」の名称入り。

- 頒布価格 1,500円(税込)
- カラー 緑(奈良県防災士会のベストと同色)
- サイズ フリー(サイズ調整可能)



デザイン画

### 防災士ベスト好評販売中！

左胸に「NPO法人 奈良県防災士会」の名称を入れた、防災士ベストを販売しています。

「NPO法人 日本防災士会」の頒布ベストよりお得にご購入いただけます。ぜひご利用ください。

- 頒布価格 2,500円(税込)
- カラー 緑(1色)
- サイズ F(L)、XL、XXL(3サイズ)

- 一部の研修会場などで販売しています。  
会場へお越しの際にお買い求めください。
- 郵送・通販形式での販売及び、取り置きは行っておりませんのでご注意ください。



着用例：サイズF(L)(身長160cm)

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

(単位：cm)

## 事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

**「奈良県防災士会」**で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています。

スキルアップのための見学が可能です。  
見学を希望される登録防災士は、「連絡先」に記載のある担当防災士に連絡の上、ご参加ください。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております！

### 投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 [mail@bousainara.com](mailto:mail@bousainara.com)
- テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookをスタートしました！さまざまな情報をアップしていきます。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2018年8月1日  
■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉  
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5  
■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail [mail@bousainara.com](mailto:mail@bousainara.com)  
■TEL 080-1528-0901  
■ウェブサイト <http://bousainara.com>  
■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>